

2022生活支援グループ災害対応マニュアル

1 災害

神奈川県に大きな被害をもたらすといわれる首都直下型地震や相模湾沖地震・東南海沖地震は、今後30年に70%以上の確率で起きる可能性があるといわれています。もちろんこの70%は30年後に地震が起こる可能性が70%というわけではありません。今日にも起こる可能性があることは、ご承知のとおりです。

過去の災害を見ると阪神淡路大震災では、倒壊と火災、東日本大震災では津波、熊本地震では建物の倒壊により多くの被害がでました。

首都直下型地震や相模湾沖地震は私たちの生活の場を直撃する恐れがあるため発生したときにどのような行動をとるかで生死を分けることになるかもしれません。

さらに災害は地震ばかりではありません。台風や豪雨、強風や大雪、竜巻や雷、また富士山の噴火もいつ起きてもおかしくないと専門家は指摘します。

この計画は、これらの災害が起きたときに職員がいち早く行動できるように別紙1のとおりまとめました。災害がいつ起こっても適切な行動ができればと考えています。

2 生活支援グループ

(1) 生活支援グループ

生活支援グループは、社会福祉法人ひばりの障がい者サービス（支援）のうち障がい支援区分3（50歳以上は2）以上の人を対象とする生活介護事業所と生活を支援する共同生活援助（グループホーム）ひばりの宿5か所で構成されています。

(2) 一時避難所

災害が発生した場合に建物内が危険と考えられる場合は、一時的に避難する場所を指します。建物や周辺的安全を十分確認し一時的に非難します。

(一時避難場所)

名 称	一時避難場所	備 考
湘南むぎばたけ	建物西・南側（裏）の畑	安全確認後いずれかを判断
ひばりの宿第1	フジスーパー駐車場	断線や車の往来注意
ひばりの宿第2	建物北側畑・善行中学校グラウンド	
ひばりの宿第3	建物東側畑・駅前ロータリー	断線や車の往来注意
ひばりの宿六会	〃	〃
ひばりの宿第5	〃	〃

(3) 定員及び最寄りの一次・二次避難場所

生活支援グループの定員及び避難所は次のとおりです。もし施設や住居が破損や倒壊等により危険が伴う場合や生活が困難となる場合は、一次避難所または二次避難所へ職員が誘導します。

名称	所在地区	定員	一次避難所	二次（福祉）避難所
湘南むぎばたけ	善行地区	40人	善行中学校	善行市民センター
ひばりの宿第1	善行地区	5人	大越小学校	善行市民センター
ひばりの宿第2	善行地区	5人	善行中学校	善行市民センター
ひばりの宿第3	六会地区	7人	六会小学校	六会市民センター
ひばりの宿六会	六会地区	7人	六会小学校	六会市民センター
ひばりの宿第5	六会地区	6人	六会小学校	六会市民センター

3 対象となる災害

この計画では、藤沢市内を中心としたエリアで、以下のような災害が発生または発生の恐れがあるとき別紙の行動をとることになります。以下はその目安になります。

- 1 地震 震度5強以上の強い揺れにより建物の亀裂や倒壊、道路の陥没、公共交通機関の乱れや運休、電気・ガス・水道等の停止、落橋等が発生したとき
- 2 台風 台風により河川の氾濫や倒木、落橋、家屋の破損、送迎（運転）に支障がでる恐れがあるときや恐れのあるとき
- 3 豪雨 線状降水帯等の発生による豪雨で藤沢市内の河川の氾濫や浸水、落橋、土砂災害が発生または発生の恐れのあるとき
- 4 噴火 富士山の噴火による降灰等により車両の運行に支障がでるときや恐れのあるとき
- 5 火災 事業所内で出火したとき
- 6 落雷・竜巻 予報により危険があると判断したとき

4 生活支援グループのとるべき避難手順

災害が発生し建物内が危険な場合や周辺で火災が発生している場合、建物に残ることに不安がある場合は、次の手順で行動します。

ア 身の安全の確保

テーブルの下等でまず自分の身の安全の確保

イ 一時避難（身近な空き地等）	一時的な避難（上履きのままでよい）
ウ 一次避難（小中学校）	建物に残ることに危険や不安がある場合
エ 二次避難（最寄りの市民センター）	一次避難所での生活が困難な場合
オ 三次避難（福祉施設など）	避難所が開設された以降で福祉的配慮が必要な場合

4 持ち運びたい物資や物品

命を守ることを優先することになりますが、可能な場合は次の物品等を携帯若しくは持ち出せるように用意する必要があります。

（緊急的に持ち出すもの）

- ① ヘルメットやゴーグル・マスク・手袋（軍手）などの装着品
- ② 利用者若しくは入居者及び職員名簿
- ③ 携帯電話（業務用）・充電器
- ④ 水（ペットボトル）
- ⑤ 倉庫のカギ等
- ⑥ ラジオ・懐中電灯

5 災害時の行動

別紙1参照

資料

- 資料1 生活支援グループ災害対応マニュアル別紙1
- 資料2 福祉避難所の開設手順（資料）
- 資料3 富士山火山防災マップ
- 資料4 災害伝言ダイヤル（171）の概要